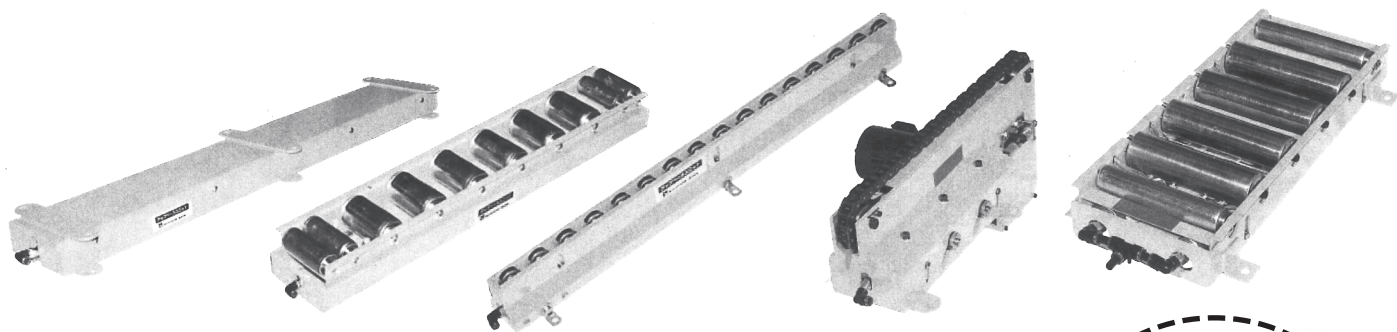


アップベースユニット取扱説明書

アップベース、アップローラ、アップホイール、アップベースドライブ



ご採用いただき
誠にありがとうございました。

- 本取扱説明書は取扱責任者、保守管理責任者が確認できる場所に保管してください。



人と物流の調和を考える

セントラルコンベヤー株式会社

このたびは「アップベースユニット」をご採用いただき誠にありがとうございました。

- アップベースユニットをご使用いただく前に必ず本書をお読みください。
- 内容を十分ご理解の上正しくお取り扱いください。
- 本取扱説明書は大切に保管してください。

目 次

.....

・アップベースユニット(各型式共通)ご使用上のお願い 2~3 ^{ページ}
・ご使用時の注意事項	
・エアーホース保護のための注意事項	
・使用エアーについて	
・上昇、下降スピード調整	
・エアー回路について	
・据付、取付方法 4~5
・ホース交換手順(アップベースユニット) 6~7
・保守・点検・メンテナンス 8~9
・トラブル原因と対策 10
・保証及び免責事項 11
・メーカー連絡先 裏表紙

アップベースユニット(各型式共通)ご使用上のお願い

ご使用上の注意事項 下記事項が設計上において考慮されているかご確認の上対策を施してください。

- アップベースユニットを2台以上同時に使用するときは、積載装置自体をひとつの合体構造となるよう(連結ステーの取付等)設計をしてください。
- 許容荷重値以内でご使用ください。また、偏荷重がかかる使い方は避けてください。
- ロングエルボコネクターはエアーの出入時上下、左右(詳細寸法はカタログ参照)に動きますので、他の機器と干渉しないように自由に首振りさせてください。
- ローラタイプ、ホイールタイプで極端な集中荷重がかからないようご注意ください。
(ローラ、又ホイールの許容荷重以内に抑える)
- 水平な設置以外でのご使用は避けてください。
- 片荷、集中荷重、はみ出し荷重等極端な集中荷重及び偏荷重がかかるご使用は避けてください。

エアーホース保護のための注意事項

- エアーホース保護のため火気にご注意ください → 本体に溶接は避けてください。
- 本体に溶接する場合のご注意 → やむを得ず溶接するときは、必ずホースを外してから行ってください。
→ アースを下記の方法で取ってください。
特に平行上下式(平行リンクタイプ)アップベース、アップローラにブラケット等の部品を溶接する場合、リンク部品同士でショートする恐れがありますからご注意ください。
①上昇フレーム側に溶接するときは、上昇フレーム側にアースを取ってください。
②固定ベース側に溶接するときは、固定ベース側にアースを取ってください。
- 本体面溶接不可能箇所 → ホースが内蔵されるフレーム面には溶接加工、及び部品取付は避けてください。
- 追加工上のご注意 → 本体内へ貫通する穴加工は避けてください。
- 使用雰囲気温度・湿度の目安 → 10℃～60℃・35%～85%

アップベースユニット(各型式共通)ご使用上のお願い

使用エアについて

- エアは一般工場用で可能ですが、(3点セット不要。但し電磁弁制御時は取付) 化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、腐食性ガス等を含む時はホースの劣化及び破損の原因となりますのでご使用は避けてください。
- 数本のアップベースユニットを同時に使用する場合はエア消費量にご注意ください。
(エア量不足の時はエアサブタンクを追加)
- 2ページのご使用上の注意事項を確認の上、適切にご使用ください。

上昇、下降スピード調整

- 下降スピードを早くしたい時 → 下降は自重下降のため、下降スピードを早くしたいときは急速排気弁を取り付けるか、排気抵抗を少なくしてください。
- 偏荷重時調整(バランスウエイト) → 偏荷重時、よりスムーズに作動させたいときは、積載装置全体の重量のバランスをとってください。(例、モータ位置と対称なところにウエイトをかける)
- 上昇スピードを早くしたい時 → 圧力を上げる(圧力一定のとき、荷重が大きいくほど上昇時間は遅くなるが、圧力を上げると荷重が増えても上昇時間は早くなる。) → 配管抵抗を小さくする(ホース径を太くする。スピコン、急速排気弁等をつけない。配管部分を少なくする等。) → 必要エア量より大きな流量の配管をアップベースユニットに極力近い所まで配管してください。

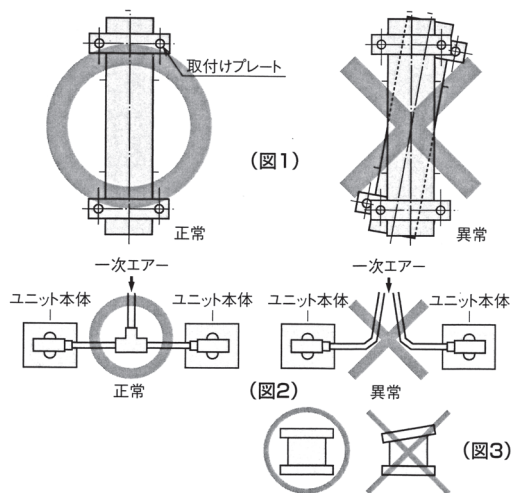
エア回路について

- アップベースユニットを単列使用、復列使用、復列使用連結一体化のエア回路については、特別の回路の必要性はありませんが、回路図を必要の場合は弊社に問合せください。
- 万一復列使用時に偏荷重でご使用の場合は上昇用スピードコントローラと下降には調整式の急速排気弁又はスピードエキゾーストコントローラ等を必ずつけてください。

据付、取付方法

据付、取付上のご注意事項

- アップベースユニット本体を設置するときは上フレームと下フレームが平行になるように取付けてください。(図1)
- エア配管施工時は配管方法にご注意ください。(図2)
- アップベースユニット本体を設置するとき断面方向で見た時水平になるように取付けてください。(図3)
- 無理に取付け穴を合わせないでください。
- 取付けた状態での溶接作業は絶対に行わないでください。
- 仮締めにて数回作動後動きがスムーズであることを確認した後ボルトを本締めしてください。

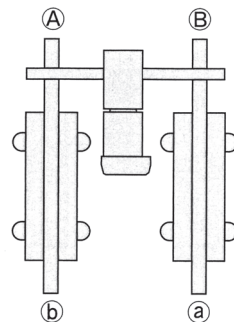


アップベースドライブユニットの取付について

- 水平度及び対角寸法の調整を必ず行う必要があります。
水平度及び対角寸法が適正に出ていない場合、異音の発生又は昇降がスムーズにいかない場合があります。
- 昇降時のエア調整について、無負荷時と積載時と両方流量調整を行う必要があります。

水平度
A-B
b-a
B-a
A-b

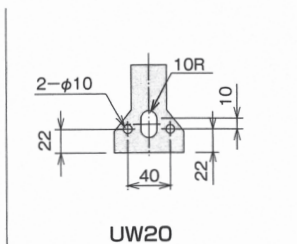
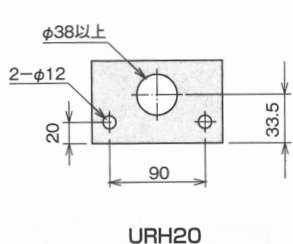
対角寸法
A-a
B-b



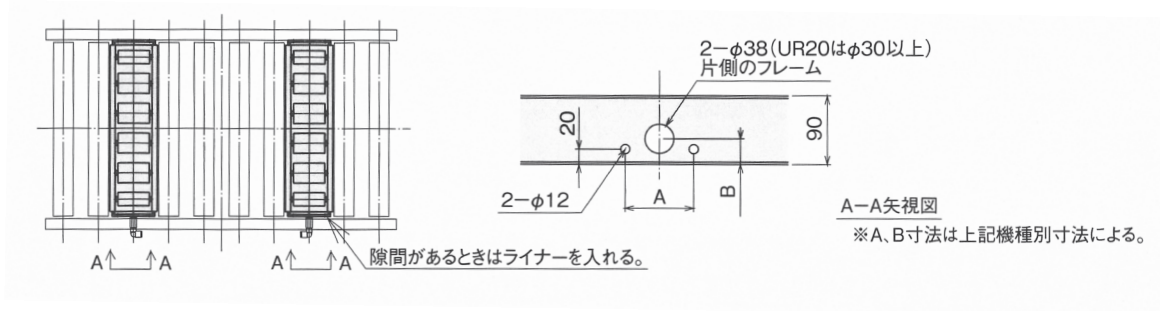
取付方法

アップローラ・アップホイールのローラコンベヤへの取付方法

- アップローラ・アップホイールは各コンベヤメーカーのローラコンベヤに取付が可能な共通仕様になっております。本体にタップ加工をしてありますが、アップローラ・アップホイール本体とローラコンベヤフレームとの隙間があるときは必ずライナーを入れて、ボルト止めしてください。
- アップローラ・アップホイールをローラコンベヤ内に内蔵する時はエアー供給口のロングエルボコネクタが首振りしますのでローラコンベヤフレームを長穴加工するか又はキリ穴の加工を下図にしたがって行ってください。



アップローラ取付状態

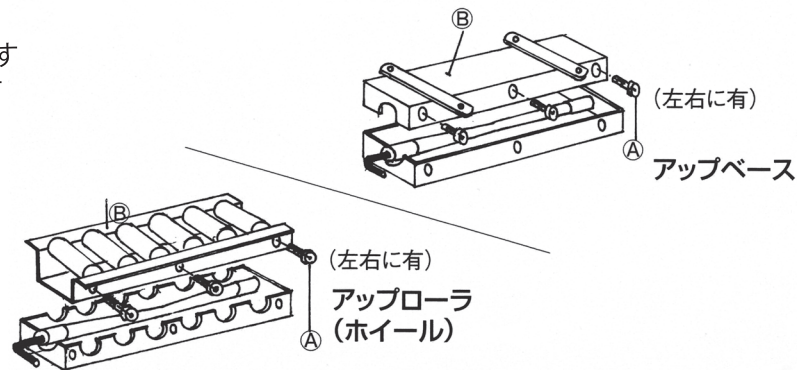


ホース交換手順 (アップベースユニット)

サイドガイドピン方式

型式 アップベース UBM20.UBH20.UBWH20.UBT30.UBS30.UBW30
アップローラ URH20.URM30
アップホイール UW20

- 手順 1) ①サイドガイドピン全数を取りはずす
2) ②上部フレームを上方へ取りはずす
3) ホースを入れ替える
4) ②上部フレームをセットする
5) ①サイドガイドピン全数のネジ部に
ネジロック(接着剤)をつけて、
強く締める。



ホース交換手順 (アップベースユニット)

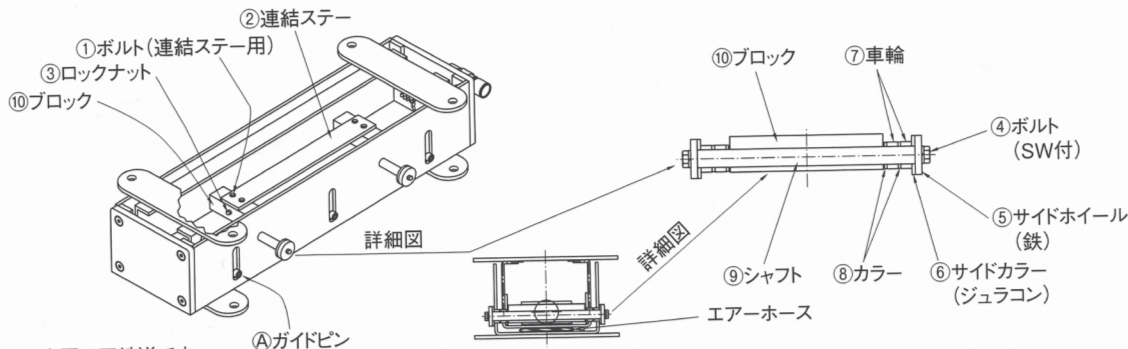
内蔵ホースは消耗品となっております。エアーもれが発生しましたら、すみやかに交換してください。

平行上下式、リンク機構内蔵方式

型式 アップベース UHBW30. UHB45. UHBW45
アップローラ UHR30. UHR45
ドライブ付 UDC30. UDC45. UDCC30. UDCC45

- 手順 1) ④ボルトを片側のみに外しますと⑤サイドホイール・⑥サイドカラー・⑦車輪・⑧カラー(厚)・⑦車輪・⑧カラー(薄)の順で外します。
- 2) 連結ステー用③ロックナットを解除したら先に外した⑤サイドホイール等の反対側から⑦車輪・⑧カラー等を⑨シャフトごと抜きます。
- 3) ⑩ブロック上の①ボルト(連結ステー用)を外します。
- 4) ①Aガイドピンを全て外します。
- 5) これで分解終了です。
- 6) 再組み立ては1)・2)・3)・4)の順で組み付けしてください。
- 組み付け時、各ボルト類はネジロック(接着剤)を塗布して強く締めてください。

※作業時反対側のカラーホイール・車輪・ボルト等は外さない方が作業しやすく順番も分かり易くなります。



保守・点検・メンテナンス

アップベースユニット

日常点検

- ・昇降時の振動、異音の有無 → ガイドピン摺動部より異音が発生している場合は給油してください。
- ・エア漏れの有無 → 放置すると推力低下につながりますので、メーカーに連絡し交換用のホースを手配してください。

定期点検…6ヶ月ごと(8時間/日 偏荷重無しの場合)

- ・昇降時の振動、異音の有無 → ガイドピン摺動部より異音が発生している場合は、給油してください。
- ・エア漏れの有無 → 放置すると推力低下につながりますので、メーカーに連絡し交換用のホースを手配してください。
- ・ボルトの緩み → 増し締めしてください。

メンテナンス

- ・昇降時に異音が発生している場合は、ガイドピン摺動部に給油してください。
 - ・昇降動作不良が発生した場合は、内蔵ホース・エア配管接続部よりエア漏れが発生していないか確認してください。
- 供給エア圧が適正であることを確認してください。

保守・点検・メンテナンス

アップベースドライブユニット

日常点検

- ・昇降時の振動、異音の有無 → ガイドピン摺動部より異音が発生している場合は給油してください。
- ・エアー漏れの有無 → 放置すると推力低下につながりますので、メーカーに連絡し交換用のホースを手配してください。
- ・チェーン走行時の振動、異音 → 給油を実施してください。
- ・チェーン・ベルトの伸び → チェーンの張り調整を実施してください。

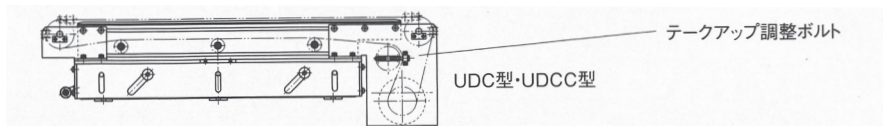
定期点検…6ヶ月ごと(8時間/日 偏荷重無しの場合)

- ・昇降時の振動、異音の有無 → ガイドピン摺動部より異音が発生している場合は、給油してください。
- ・エアー漏れの有無 → エアー配管、内蔵ホースを確認してください。
- ・チェーン走行時の振動、異音 → 給油を実施してください。
- ・チェーン・ベルトの伸び → チェーンの張り調整を実施してください。

メンテナンス

- ・チェーンは使用始めに初期伸びが生じ、その後摩耗により伸びが増加します。目安として呼称ピッチの2%以上伸びが生じた場合は取替えてください。又、ラムダチェーン使用型は0.5%を目安としてください。

チェーン・ベルトの伸び調整方法(下図のテークアップボルトにて調整してください。)



トラブル原因と対策

トラブル内容		原因	対策
昇降しない	エア－漏れ	エア－配管・継手の破損	破損部品交換
		内蔵ホース破損	メーカーへ連絡し、交換用内蔵ホース手配(※交換の目安300,000回往復)
昇降動作が不安定	エア－漏れ	エア－配管・継手の破損	破損部品交換
		内蔵ホース破損	メーカーへ連絡し、交換用内蔵ホース手配(※交換の目安300,000回往復)
	エア－圧低下	工場内エア－供給設備不備	必要エア－圧の確保
	ボルトの緩み	ガイドピンの脱落	ガイドピン復旧
昇降時の異音	摺動部の抵抗増加	給油切れ	ガイドピンへの給油
	ガイドピン破損	ガイドピン及び摺動部カラー・車輪破損	部品交換
搬送チェーン走行時の異音		給油不足	給油
		チェーンの伸び	テークアップ実施
		チェーン寿命	2%以上伸びた場合は交換(ラムダチェーンは0.5%)
モータの異常加熱		過負荷	過負荷原因(異物)の除去
		搬送重量オーバー	適正積載荷重に修正
		チェーンの張りすぎ	チェーンテンション調整

※内蔵ホースの寿命は、設置環境により異なりますので、日常点検でエア－漏れの確認をお願いします。

保証及び免責事項

保証期間	工場出荷後1年間を保証期間と致します。
保証内容	保証期間内において、取扱説明書に準拠する適切な据付、連結ならびに保守管理が行われ、かつカタログに記載された仕様もしくは別途合意された条件下で正しい運転が行われたにも拘わらず、本製品が故障した場合は、下記保証適用除外の場合を除き無償で当社の判断において修理または代品を提供致します。ただし、本製品がお客様の他の装置等と連結している場合において、当該装置等からの取り外し、当該装置等への取り付け、その他これらに付帯する工事費用、輸送等に要する費用ならびにお客様に生じた機会損失、操業損失その他の間接的な損害については補償範囲外とさせていただきます。
免責事項	<ol style="list-style-type: none">(1) 取扱い及び、日常のメンテナンス不備に起因する不具合(2) 自然災害、地盤沈下、雨漏り、結露等に起因する不具合(3) 仕様外の搬送物を流すなど、設計条件以外での使用による不具合(4) 搬送物の条件がテスト品(貸与品)と異なる事に起因する不具合(5) ユーティリティ、環境条件を満たさない条件下での使用による不具合(6) 内蔵ホースの劣化により発生した不具合(7) 弊社及び弊社が指定する者以外が施工した工事に起因する不具合(8) 弊社の了解無く行われた機器、制御などの改造に起因する不具合(9) 不具合に起因する製品破損、遺失利益、第三者への補償による費用及び、発生する労務費その他の費用(10) 輸出の場合、日本国内引渡し以降の輸送中における製品の破損、紛失(11) 使用中に発生する外観上の変化(塗装やカバーの傷や劣化など)

〈 メモ 〉

メーカー連絡先



人と物流の調和を考える

セントラルコンバーター株式会社

本社・工場	〒444-0128	愛知県額田郡幸田町野場四ツ塚3-2	TEL: (0564) 62-1511	FAX: (0564) 62-2470
名古屋営業G	〒444-0128	愛知県額田郡幸田町野場四ツ塚3-2	TEL: (0564) 62-2980	FAX: (0564) 56-9055
東京オフィス	〒104-0051	東京都中央区佃1-11-8 ピアウエストスクエア2階	TEL: (03) 6228-2391	FAX: (03) 6228-2392
大阪営業G	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト6階	TEL: (06) 7730-9844	FAX: (06) 7730-9845
サービスG	〒444-0128	愛知県額田郡幸田町野場四ツ塚3-2	TEL: (0564) 62-3113	FAX: (0564) 62-9482
額田工場	〒444-3435	愛知県岡崎市桜形町惣玉15-4	TEL: (0564) 84-3111	